

四国厚生支局長 殿

開設者名 国立大学法人  
一井 眞比

香川大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	68人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	219人	72人	274.1人	看護補助者	0人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	7人	11.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	28人
薬剤師	25人	5人	30.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	32人	1人	33.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	490人	50人	529.5人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	111人
管理栄養士	5人	1人	6.0人	診療放射線技師	26人	その他の職員	21人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	476.0人	6.8人	482.8人
1日当たり平均外来患者数	883.1人	29.9人	913.0人
1日当たり平均調剤数			2159.0剂

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	18人
超音波骨折治療法	0人
膀胱水圧拡張術	6人
インプラント	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。  
 (注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	造血幹細胞移植	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 自家末梢血幹細胞移植、骨髄バンクを介した非血縁者間同種骨髄移植など。			
医療技術名	大量抗腫瘍薬による難治性急性白血病の治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 治療抵抗性造血器悪性腫瘍に対して行う抗癌剤大量療法。			
医療技術名	経静脈的左心系コントラストエコー法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 マイクロバルブ製剤の静脈内投与により、左心系の灌流のイメージングを行うもの。			
医療技術名	15O-H <sub>2</sub> O 心臓PET検査	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 左室心筋血流量を定量評価し、心筋虚血重症度診断を行うもの。			
医療技術名	18F-FDG PET検査	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 心サルコイドーシスにおける、心筋炎症の評価を行うもの。診断、治療効果判定を行うもの。			
医療技術名	11C-ACETATE PET検査	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 左室、右室の心筋酵素代謝評価を行うもの、心不全重症度診断を行うもの。			
医療技術名	大動脈内バルーンポンピング法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 低左心機能症例に対して左室補助を行うもの。			
医療技術名	経皮的心肺補助	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 低左心機能症例、致死性不整脈、肺循環障害症例に対して心肺補助を行うもの。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	68人
当該医療技術の概要 胆管結石に対して内視鏡を用い、経乳頭的に結石を除去する。外科手術に比して低侵襲で入院期間も短くて済む。			
医療技術名	超音波内視鏡検査	取扱患者数	167人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡は、高い空間分解能を有し、他の画像では指摘できない病変を摘出することができる。			
医療技術名	超音波内視鏡下穿刺吸引術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 高い空間分解能を利用し、経消化管的に腫瘍を穿刺し、細胞診や組織診に有用であり、ドレナージ術など治療にも有用である。			
医療技術名	急性胆のう炎に対する超音波下胆のう穿刺術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 本来、急性胆のう炎の治療はガイドラインにそって行われるが、患者の状態によってはガイドライン通りに治療できない。そのような症例に対して、超音波下に胆のう穿刺し、排膿する。			
医療技術名	術後腸管に対するダブルバルン内視鏡を用いたERCP	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 これまで術後腸管に対するERCPは困難であったが、バルン内視鏡の登場によって比較的容易にERCPができるようになってきたが、偶発症も通常のERCPより多く、高度な技術を要する。			
医療技術名	肝癌に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	120人
当該医療技術の概要 肝癌に対してラジオ波針を用いて焼灼する。			
医療技術名	埋込型カテーテル・アクセスを用いた局所持続動注療法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 原発性肝癌に対して埋込型カテーテルアクセスを用いて抗癌剤の持続動注を行う。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	87人
当該医療技術の概要 早期食道癌、胃癌、大腸癌を内視鏡的に一括切除できる技術である。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	経頭蓋磁気刺激法による運動機能の評価	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 磁気刺激により経頭蓋的に皮質運動野を刺激し、運動ニューロンの機能障害について評価を行う。			
医療技術名	起立負荷後のAVP反応を用いた自律神経障害の評価	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 起立負荷時のAVPの反応性を基に、中枢性自律神経障害の鑑別を行っている。			
医療技術名	皮膚悪性腫瘍の色素法、RI法併用によるセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 色素法とRI法を併用してセンチネルLNをみつけ、切除する。			
医療技術名	皮膚悪性腫瘍の集学的治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアなどによる治療。			
医療技術名	悪性黒色腫の5-S-CD値によるフォロー	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 tumor markerである5-S-CD値を定期的に測定し、経過フォローに役立てる。			
医療技術名	新しい光源による新生児高ビリルビン血症に対する光療法	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 LEDを用いた、ビリルビンを体外排出型に構造変化させる新しい新生児高ビリルビン血症に対する、より効果的な光療法を行う。			
医療技術名	ビリルビンの精密解析	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 ビリルビンの光異性体、構造異性体、抱合体を高速液体クロマトグラフィーを用いて高精度分析し、新生児高ビリルビン血症の病因、治療効果判定に用いる。			
医療技術名	光学的非侵襲的脳代謝・循環の測定	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 神経学的後遺症の軽減を目的とした、近赤外分光測定法を用いて、新生児の脳循環、代謝を評価。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	脳分離循環を伴う胸部大動脈瘤手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 脳分離循環を伴う胸部大動脈瘤の手術。			
医療技術名	Hybrid NOTESによる胃GIST切除	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 胃粘膜下腫瘍に対して、内視鏡と腹腔鏡を併用した手技により、低侵襲下に腫瘍を切除する。			
医療技術名	Single Port Surgery を用いた胆嚢摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 単孔式腹腔鏡手術により、胆嚢摘出を行い、患者の負担を軽減する。			
医療技術名	腹腔鏡下肝切除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 腹腔鏡手技を用いて低侵襲下に肝切除術を施行する。			
医療技術名	腹腔鏡下膵切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 腹腔鏡手技を用いて低侵襲下に膵尾部切除、核出術を施行する。			
医療技術名	LED励起ICG蛍光を用いたNavigation Surgery	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 LED励起ICG蛍光を利用し、肝区域、胆管、血管走行を明らかにし、手術の指標とする。			
医療技術名	赤外光胸腔鏡による胸腔鏡手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 赤外光胸腔鏡を使用し、肺の気腫化病変や肺区域の固定を行っている。			
医療技術名	気管、気管支形成を伴う肺切除	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 気管、気管支形成を伴う肺手術。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者に対する遺伝子解析に基づいた化学療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 肺癌に対し、薬剤耐性等の遺伝子解析を行い、これに基づいた化学療法を施行する。			
医療技術名	乳房再建を伴う、乳癌手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 乳房再建を伴う、乳癌に対する手術。			
医療技術名	関節リウマチに対する手術的治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 関節リウマチに対する手術的治療。			
医療技術名	悪性骨軟部腫瘍に対する患肢温存手術	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 悪性骨軟部腫瘍に対する患肢温存手術。			
医療技術名	大腿骨頭壊死症の手術療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 大腿骨頭壊死症の手術療法。			
医療技術名	皮膚、筋、骨など血管付多臓器移植術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 皮膚、筋、骨など血管付多臓器移植術。			
医療技術名	人工股関節術後の高度骨欠損に対する再置換術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 人工股関節術後の高度骨欠損に対する再置換術。			
医療技術名	顔面神経麻痺形成手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 顔面神経麻痺に対するネットワーク型神経移植。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	遊離皮弁術、自家遊離組織移植術	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 顕微鏡下血管吻合を用いた組織移植術。			
医療技術名	切断四肢再接着術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 切断肢に対する再接着術。			
医療技術名	裂手手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 裂手に対する形成手術。			
医療技術名	顔面多発骨折観血的手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 顔面多発骨折に対する観血的整復固定術。			
医療技術名	上顎骨形成術、下顎骨形成術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 上顎骨又は、下顎骨の骨切りによる形成術。			
医療技術名	遠位血行再建術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 膝下以下の虚血肢に対するバイパス手術。			
医療技術名	陰莖海綿体神経再生による勃起能回復を目的とした神経移植術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 前立腺癌の手術療法の大きな副作用の1つに勃起不全があり、QOLを損なう原因となる。その対策として、腓腹神経の自家移植を行い、勃起機能の回復を図る。			
医療技術名	前立腺癌に対する3D-CRT原体照射の精度向上を目的とした前立腺内金球マーカー埋め込み術	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 外照射療法において、副作用軽減のために、あらかじめ前立腺内に金属のマーカーを留置する。その動きを観察し、補正することによって、効率的かつ安全な照射が可能となる。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡下小切開泌尿器科腫瘍手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 開腹手術の1つであるが、傷を極力小さくして、同時に内視鏡を用いて、明るい拡大視野を得ることにより、緻密な手術が可能となる。また、傷が小さいため、術後の患者の回復も速やかである。			
医療技術名	重症脳卒中及び重症頭部外傷患者に対する軽度低体温療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 重症脳卒中及び、重症頭部外傷患者に対して、軽度低体温療法を用いることで脳保護を目的とした治療である。			
医療技術名	脳神経外科手術に対する術中ナビゲーション	取扱患者数	65人
当該医療技術の概要 手術において術中ナビゲーションを用いることで、摘出部位の把握や摘出範囲の状況、さらに電気刺激部位の確認による機能温存を考慮した治療法である。			
医療技術名	硝子体手術(増殖硝子体網膜症手術)	取扱患者数	155人
当該医療技術の概要 増殖硝子体網膜症に対して、高度な手術技術を要する手術である。			
医療技術名	人工内耳	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 高度難聴症例(小児、成人)の聴覚言語獲得及び、使用のために人工内耳埋込術を施行し、術後、言語のリハビリを行っている。			
医療技術名	肝癌に対する肝動脈塞栓療法	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要 肝癌に対して肝動脈塞栓手術を行う。			
医療技術名	肝・骨盤部悪性腫瘍に対するリザーバー設置術	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 肝・骨盤部悪性腫瘍に対するリザーバー設置術。			
医療技術名	高進ヘリカルCTによる3次元画像	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 高進ヘリカルCTによる3次元画像。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	低体温療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 心停止後脳障害、重症頭部外傷、重症くも膜下出血、等の患者の二次性脳障害を軽減するために24-72時間34℃で体温管理を行う。			
医療技術名	院外心肺停止患者に対する遠心ポンプを使用した循環補助による蘇生	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 院外心肺停止患者に対する高度な二次救命処置の最終手段として遠心ポンプを使用した循環補助を行い、これに低体温療法および経皮的冠動脈形成術を組み合わせることで蘇生を行う。			
医療技術名	幼若血小板比率測定による血小板回復時期の予測	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 幼若血小板比率測定による血小板回復時期の予測。			
医療技術名	口腔癌における再建手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 口腔癌における再建手術。			
医療技術名	口腔癌における超選択的動注化学療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 口腔癌における超選択的動注化学療法。			
医療技術名	歯の欠損に対する口腔インプラント治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 歯の欠損に対する口腔インプラント治療。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ペーチェット病	33人	・膿瘍性乾癬	6人
・多発性硬化症	52人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	57人	・原発性胆汁性肝硬変	44人
・全身性エリテマトーデス	105人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	17人
・再生不良性貧血	22人	・混合性結合組織病	22人
・サルコイドーシス	21人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	14人	・特発性間質性肺炎	2人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	114人	・網膜色素変性症	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	46人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	27人	・肺動脈性肺高血圧症	
・潰瘍性大腸炎	52人	・神経線維腫症	6人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	12人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	26人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	31人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	121人	・球脊髄性筋委縮症	0人
・アミロイドーシス	1人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	15人
・後縦靭帯骨化症	22人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	18人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェグナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	20人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	24人	・黄色靭帯骨化症	
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRI分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	31人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	
・眼底三次元画像解析	
・膀胱水圧拡張術	

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年100回程度
部 検 の 状 況	部検症例数      17例      /      部検率      7.33%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究	石田 俊彦	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	800,000	厚生労働科学研究費補助金
糖尿病におけるHDL代謝—HDL受容体SR-BI/CLA-1の役割と治療戦略—	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	800,000	文部科学省科学研究費補助金
難治性血管炎に関する調査研究	土橋 浩幸	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	1,000,000	厚生労働科学研究費補助金
難治性血管炎に関する調査研究	土橋 浩幸	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	410,000	厚生労働科学研究費補助金
超音波を用いた脂肪組織への介入によるメタボリックシンドロームの治療に関する研究	大森 浩二	循環器・腎臓・脳卒中内科	1,100,000	文部科学省科学研究費補助金
抗酸化ストレス及びアポトーシス抑制効果を有する希少糖を用いた新規膜透析液の開発	清元 秀泰	循環器・腎臓・脳卒中内科	2,500,000	文部科学省科学研究費補助金
心不全における酸化ストレスの関与の検討	四宮 かおり	循環器・腎臓・脳卒中内科	500,000	文部科学省科学研究費補助金
肝癌に対する複合的免疫遺伝子治療:樹状細胞機能増強による免疫監視システム再構築	出口 章広	循環器・腎臓・脳卒中内科	3,200,000	文部科学省科学研究費補助金
生体腎移植における片腎機能と移植腎長期生着に及ぼすRA阻害薬の効果	祖父江 理	循環器・腎臓・脳卒中内科	1,000,000	文部科学省科学研究費補助金
認知症の早期診断と社会対策の最先端技術研究及び国際最新状況に関する海外調査研	峠 哲男	消化器・神経内科	400,000	文部科学省科学研究費補助金
脳磁気刺激法を用いた高齢者の運動機能回復訓練法の開発に関する研究	峠 哲男	消化器・神経内科	2,800,000	文部科学省科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	峠 哲男	消化器・神経内科	700,000	厚生労働科学研究費補助金
ロリクリン角皮症の病態解明(RNA干渉法を用いて)	米田 耕造	皮膚科	700,000	文部科学省科学研究費補助金
糖鎖関連分子を標的にした生活習慣病予防マーカーの開発	中村 祐	精神科神経科	800,000	文部科学省科学研究費補助金
オリゴデンドロサイトのDNA損傷に対する脆弱性—ADとの関連について—	中村 祐	精神科神経科	1,400,000	文部科学省科学研究費補助金

1ページ  
計15件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

オリゴデンドロサイトのDNA損傷に対する脆弱性—ADとの関連について—	中村 祐	精神科神経科	100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方	伊藤 進	小児科	2,880,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方	伊藤 進	小児科	13,400,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
日本とカナダでの小児インフルエンザにおけるタミフル使用状況の差とその決定要因	伊藤 進	小児科	1,717,220	補 委	厚生労働科学研究費補助金
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方	伊藤 進	小児科	400,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
近赤外線時間分解分光法による新生児期の貧血と多血症における脳内酸素化に関する研究	磯部 健一	小児科	800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新生児、早産児の皮質、皮質下機能を含む視覚能測定と臨床応用	大久保 賢介	小児科	600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
知覚認知課題を用いた乳幼児検査プログラムの開発	大久保 賢介	小児科	650,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小腸不全症に対する治療法の開発—無粘膜大腸作成の可能性についての基礎的研究—	野田 卓男	小児育成外科	500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
切除可能胆道領域がんに対する補助療法の研究	鈴木 康之	消化器外科	500,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
MELKを介した肝細胞癌の増殖のメカニズムと制御	出石 邦彦	消化器外科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
bFGF徐放粒子肺動脈内投与により細血管と肺胞上皮を再生させる肺気腫の治療の研究	横見瀬 裕保	呼吸器・乳腺内分泌外科	8,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
赤外光胸腔鏡を用いた新しい区域切除術の開発	三崎 伯幸	呼吸器・乳腺内分泌外科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
生体内完全吸収型人工気管に関する実験的研究	張 性沫	呼吸器・乳腺内分泌外科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
肺癌の宿主と腫瘍における癌関連バイオマーカーの包括的解析	中島 成泰	呼吸器・乳腺内分泌外科	1,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

2ページ  
計15件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

ティッシュエンジニアリングチャンバーを用いた血管柄付き皮弁作製の実験的研究	田中 嘉雄	形成外科・美容外科	2,400,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
AV shunt LOOPにおける乱流と血栓形成に関する実験的研究	木暮 鉄邦	形成外科・美容外科	500,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	寛 善行	泌尿器・副腎・腎移植外科	400,000	補 給 費	厚生労働省科学研究費補助金
泌尿生殖器癌に対する抗TRAIL受容体抗体併用抗癌化学療法の開発:動物モデル展開	吳 秀賢	泌尿器・副腎・腎移植外科	800,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
ウロプラキニンIII→delta4を分子マーカーとした間質性膀胱炎	植月 祐次	泌尿器・副腎・腎移植外科	1,800,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
分子イメージングPET核種を用いた頭部外傷における脳虚血の検出	河井 信行	脳神経外科	1,300,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	白神 史雄	眼科	3,000,000	補 給 費	厚生労働省科学研究費補助金
未熟児網膜症の新規手術法開発後の治療プロトコールの標準化	白神 史雄	眼科	1,500,000	補 給 費	厚生労働省科学研究費補助金
血管新生黄斑症に対するペプチドワクチン療法	白神 史雄	眼科	4,000,000	補 給 費	厚生労働省科学研究費補助金
アンジオテンシン変換酵素阻害薬は正常眼圧緑内障患者を救えるか	廣岡 一行	眼科	1,500,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
希少種の制癌作用を用いた新たな治療法の開発	星川 広史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
内リンパ嚢におけるイオン輸送の制御因子および制御能	宮下 武憲	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	500,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
膠原病症例におけるF-18 FDG PET検査の有用性の検討	西山 佳宏	放射線科	1,000,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
肺癌におけるF-18 FLT PETを用いた分子イメージングの研究	山本 由佳	放射線科	1,000,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金
生体膜マイクロドメインを用いた揮発性麻酔薬の作用機序の解明	小野 純一郎	麻酔・ペインクリニック科	1,600,000	補 給 費	文部科学省科学研究費補助金

3ページ  
計15件



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

バーチャルリアリティによる内視鏡支援下口腔外科手術手技訓練システムの開発	松井 義郎	歯・顎・口腔外科	446,646	補委	文部科学省科学研究費補助金
CD34陽性細胞を用いる骨再生促進法に対するG-CSFの併用効果	松井 義郎	歯・顎・口腔外科	50,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
歯エナメル質による放射線被曝線量評価:in vivo ESRを用いた補正法の検討	岩崎 昭憲	歯・顎・口腔外科	900,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
超音波サテライトビュー映像法:高次生体機能・性状情報イメージング技術の開発	千田 彰一	総合診療部	400,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
超音波血流ドプラ信号の相互相関解析によるメタボリックシンドロームの心血管機能評価	千田 彰一	総合診療部	600,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
医療連携モデルを基盤とした総合診療系区と領域別専門医の必要数算定方と専門医制度	千田 彰一	総合診療部	800,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
胃瘻からの半回形短時間摂取法は患者のQOLを改善する	合田 文則	総合診療部	500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
新しい心臓年齢の提唱と脳心腎連関をふまえた総合的高血圧性臓器障害予防に関する研究	舩形 尚	総合診療部	2,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
医療機器の国際的な動向を踏まえた品質、有効性及び安全性の評価に関する研究	横井 英人	医療情報部	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
医療機器の不具合用語の標準化及びコード化に関する研究	横井 英人	医療情報部	4,400,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
医療機器の不具合用語の標準化及びコード化に関する研究	横井 英人	医療情報部	600,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金

4ページ  
計11件

受入総計

87,553,866

合計56件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名 発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Med 平成22年3月	Scavenger receptor class BI mediates the anti-apoptotic effect of erythropoietin.	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
J Pharmacol Sci 平成22年3月	Effects of angiotensin type I receptor blockade on the cardiac Raf/MEK/ERK cascade activated via adrenergic receptors.	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Am J Med Sci 平成22年2月	Suprasellar germinoma masquerading as lymphocytic hypophysitis associated with central diabetes insipidus, delayed sexual development, and subsequent hypopituitarism.	井町 仁美	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol 平成22年2月	Inhibition of cytochrome c release by 10-N-nonyl acridine orange, a cardiolipin-specific dye, during myocardial ischemia-reperfusion in the rat.	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Endocrine 平成21年10月	Ectopic mediastinal parathyroid adenoma: a cause of acute pancreatitis.	井町 仁美	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Diabetes Obes Metab 平成21年10月	Exendin-4 regulates glucokinase expression by CaMKK/CaMKIV pathway in pancreatic beta-cell line.	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Atherosclerosis 平成21年11月	The transcriptional factor PREB mediates MCP-1 transcription induced by cytokines in human vascular endothelial cells.	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Endocrine 平成21年8月	Co-existence of glucagonoma with recurrent insulinoma in a patient with multiple endocrine neoplasia-type 1 (MEN-1).	井町 仁美	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
J Cell Mol Med 平成21年8月	PREB regulates transcription of pancreatic glucokinase in response to glucose and cAMP.	村岡都英江	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Endocrine 平成21年4月	Human scavenger receptor class B type 1 is regulated by activators of peroxisome proliferators-activated receptor-gamma in hepatocytes.	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

Endocrine 平成21年4月	c-Jun N-terminal kinases inhibitor suppresses the TNF-alpha induced MCP-1 expression in human umbilical vein endothelial cells.	村尾 孝児	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
日本小児腎不全学会雑誌 平成21年8月	学校検尿で間欠的な蛋白尿を呈し、腎生検で oligomsganephronia が強く疑われた1男児例	岩城拓磨	小児科
Pediatr Infect Dis. J. 平成21年9月	Pharmacokinetics of prophylactic micafungin in very-low-birth-weight infants.	Kawada M.	小児科
J Photochem Photobiol B. 平成22年2月	(E2)-Cyclobilirubin formation from bilirubin in complex with serum albumin derived from various species.	Iwase T	小児科
脈管学 平成21年4月	新生児の脳循環代謝評価における近赤外光の応用	日下隆	小児科
日本小児臨床薬理学会雑誌 平成22年3月	母体ロフラゼブ酸エチル（メイラックス）投与後出生した新生児3例の経験	河田興	小児科
日本小児臨床薬理学会雑誌 平成22年3月	学会薬事委員会の取組み	伊藤進	小児科
日本小児臨床薬理学会雑誌 平成22年3月	新生児集中治療室における抗菌薬の適正使用に関する調査	大久保賢介	小児科
J Obstet Gynecol Res 平成21年4月	Three-dimensional volume-rendered imaging of embryonic brain vesicles using inversion mode.	T. Hata	周産期学婦人科学
Ultrasound Obstet Gynecol 平成21年6月	Intrauterine sonographic measurement of the embryonic brain mentle.	H. Tanaka	周産期学婦人科学

2ページ  
計10件

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

Inf Child Dev 平成22年3月	Ultrasound for evaluation of fetal neurobehavioural development : From 2-D to 4D ultrasound.	T. Hata	周産期学婦人科学
Int Gynecol Obstet 平成22年3月	Four-dimensional sonographic assessment of fetal movement late in the first trimester.	T. Hata	周産期学婦人科学
British Journal of Surgery 平成21年5月	Prediction of post-hepatectomy hepatic functional reserve by serum hyaluronate	S. Yachida	消化器外科
World Journal of Surgery 平成21年9月	Attenuation of the systemic inflammatory response and infectious complications after gastrectomy with preoperative oral arginine and omega-3 fatty acids supplemented immunonutrition	Y. Okamoto	消化器外科
ASAIO J. 平成21年5-6月	Widespread and Early Tracheal Cartilage Regeneration by Synchronous Slow Release of b-FGF and BMP-2.	Igai H	呼吸器・乳腺内分泌外科
Ann Thorac Surg. 平成21年5月	Obliteration of empyema space by vascularized anterolateral thigh flaps.	Okuda M	呼吸器・乳腺内分泌外科
肺癌 平成21年8月	非小細胞肺癌におけるWntシグナルの過剰発現とその制御への試み	黄 政龍	呼吸器・乳腺内分泌外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 平成21年9月	A novel method for determining adjacent lung segments with infrared thoracoscopy.	Misaki N	呼吸器・乳腺内分泌外科
Kyobu Geka. 平成21年9月	Key points in reconstruction of the tracheal bifurcation	Yokomise H	呼吸器・乳腺内分泌外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg. 平成21年11月	Non-surgical closure of post-pneumonectomy empyema with bronchopleural fistula after open window thoracotomy using basic fibroblast growth factor.	Okuda M	呼吸器・乳腺内分泌外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

Experimental and Therapeutic Medicine 平成22年3月	Expression of ERCC1 and class III $\beta$ -tubulin is associated with the survival of resected stage III non-small cell lung cancer patients treated with induction chemoradiotherapy using carboplatin-taxane	Cheng-long Huang	呼吸器・乳腺内 分泌外科
Int Surg. 平成22年1-3月	Indication for skin-sparing mastectomy with or without nipple preservation for primary breast cancer.	Kontani K	呼吸器・乳腺内 分泌外科
Foot Ankle Int 平成22年3月	Magnetic resonance imaging findings of microgeodic disease of the toe: a case report	Onishi Y	整形外科
Spinal Cord 平成22年3月	Differences between subtotal corpectomy and laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy	Shibuya S	整形外科
Surg Neurol 平成21年11月	Clinical outcomes of percutaneous curettage and continuous irrigation for pyogenic spondylitis	Komatubara S	整形外科
J Bone Miner Metab 平成21年4月	Eel calcitonin (elcatonin) suppressed callus remodeling but did not interfere with fracture healing in the femoral fracture model of cynomolgus monkeys	Manabe T	整形外科
日本マイクロサージャ リー学会誌 平成21年12月	有茎逆行性前外側大腿皮弁による膝関節部軟部組織欠損の再建	加地 良雄	整形外科
西日本脊椎研究会誌 平成21年6月	頸髄に発生したメラニン産生腫瘍の一例	小松原 悟史	整形外科
膝 平成21年4月	超高齢者に対するUKAの短期術後成績	森川 健一郎	整形外科
Int J Urol. 平成21年12月	A case of juxtaglomerular cell tumor (reninoma) of the kidney treated with laparoscopic partial nephrectomy.	Sugimoto M.	泌尿器科

4ページ  
計10件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

BJU Int. 平成22年3月	Renal cell carcinoma in patients with end-stage renal disease: relationship between histological type and duration of dialysis.	Kakohi Y.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 平成21年10月	Health-related quality of life evaluation in patients undergoing cavernous nerve reconstruction during radical prostatectomy.	Suginoto M.	泌尿器科
Cancer Sci. 平成21年9月	Expression of autotaxin and acylglycerol kinase in prostate cancer: association with cancer development and progression.	Wu XX.	泌尿器科
Childs Nerv Syst 2009.07	Use of 11C-methionine positron emission tomography in basal germinoma: assessment of treatment response and residual tumor.	河井信行	脳神経外科学
Stroke 2009.05	Effects of deferoxamine on intracerebral hemorrhage-induced brain injury in aged rats.	岡内正信	脳神経外科
Nat Biotechnol 2009.08	Variation in the safety of induced pluripotent stem cell lines.	小川大輔	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2010.02	Seizure suppression in amygdala-kindled mice by transplantation of neural stem/progenitor cells derived from mouse embryonic stem cells.	河井信行	脳神経外科学
Ann Nucl Med 2010.01	Use of PET in the diagnosis of primary CNS lymphoma in patients with atypical MR findings	河井信行	脳神経外科学
神経外傷 2009.11	【頭部外傷データベース プロジェクト2004】重症頭部外傷に対する低体温療法、積極的平温療法の役割 頭部外傷データベースにおける検討	河井信行	脳神経外科学
Neurological Surgery 2009.07	脳腫瘍におけるフルオロロチミジンPET	河井信行	脳神経外科学

5ページ  
計10件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

Clinical Neuroscience 2009.07	画像でみる神経疾患 PETによる脳腫瘍の再発と放射線壊死の鑑別	河井信行	脳神経外科学
J Glaucoma 平成21年4月	Risk factors for developing avascular filtering bleb after fornix based trabeculectomy with mitomycin C.	Kazuyuki Hirooka	眼科
Ophthalmology 平成21年4月	Microincision Vitrectomy Surgery and Intravitreal Bevacizumab as a Surgical Adjunct to Treat Diabetic Traction Retinal Detachment.	Fumio Shiraga	眼科
J Glaucoma 平成21年9月	Effect of Trabeculectomy on Intraocular Pressure Fluctuation with Postural Change in Eyes with Open-angle Glaucoma.	Kazuyuki Hirooka	眼科
J Biomed Opt 平成21年9月	Dynamics of retinal photocoagulation and rupture.	Hiroyuki Nomoto	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 平成21年12月	Neuroprotective Effects of Angiotensin II Type 1 Receptor Blocker in a Rat Model of Chronic Glaucoma.	Kazuyuki Hirooka	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 平成21年12月	Pharmacokinetics of Bevacizumab After Topical, Subconjunctival and Intravitreal Administration In Rabbits.	Hiroyuki Nomoto	眼科
Ophthalmology 平成22年1月	Unintentional Displacement of the Retina after Standard Vitrectomy for Rhegmatogenous Retinal Detachment.	Chieko Shiragami	眼科
Am J Ophthalmol 平成22年3月	One-Year Results of Reduced-Fluence Photodynamic Therapy for Polypoidal Choroidal Vasculopathy.	Ayana Yamashita	眼科
Acta Ophthalmologica 平成22年3月	Stratus Optical Coherence Tomography Study of Filtering Blebs after Primary Trabeculectomy with a Fornix-Based Conjunctival Flap.	Kazuyuki Hirooka	眼科

6ページ  
計10件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

Acta Ophthalmologica 平成22年3月	Correlation between Optical Coherence Tomography Scan and Histological Specimen of a Filtering Bleb.	Kazuyuki Hirooka	眼科
Am J Ophthalmol 平成22年3月	Comparison of Combined Therapy between Intravitreal Triamcinolone Acetonide with Photodynamic Therapy and Intravitreal Bevacizumab with Photodynamic Therapy for Retinal Angiomatous Proliferation.	Chieko Shiragami	眼科
J Cataract Refract Surg 平成22年3月	Anterior capsulotomy with a pulsed electron avalanche knife (PEAK).	Hiroyuki Nonoto	眼科
Auris Nasus Larynx 平成21年4月	Evaluation of the therapeutic effects and recurrence for head and neck cancer after chemoradiotherapy by FDG-PET	H. Hoshikawa	耳鼻咽喉科学
Int. Arch. Allergy Immunology 平成21年4月	IL-16 variability and modulation by antiallergic drugs in a murine experimental allergic rhinitis model	K. Akiyama	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Nuclear Medicine Communications 平成21年8月	Diagnostic value of kinetic analysis using dynamic 18F-FDG-PET in patients with malignant primary brain tumor	N. Kimura	放射線部
Academy of Molecular Imaging 平成21年11月	Early Assessment of Therapeutic Response using FDG PET in Small Cell Lung Cancer	Y. Yamamoto	放射線科
Nuclear Medicine Communications 平成21年11月	Detection of colorectal cancer using 18F-FLT PET: comparison with 18F-FDG PET	Y. Yamamoto	放射線科
臨床放射線 平成22年1月	咯血に対する動脈塞栓術 -当院における現状-	中野 覚	放射線部
J Clin Neurosci 2009.8	Hypoxia inducible factor-1 $\alpha$ has a key role in hypoxic preconditioning.	Taie S	麻酔学

7ページ  
計10件



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

日本手術医学会誌 2009.5	特集「手術室の効率的運用のための新たな発想」手術室 運用の効率化	浅賀健彦	手術部
Med Mol Morphol 2010.3	Difference in abundance of blood and lymphatic capillaries in the murine epididymis.	Hirai S	麻酔学
Annals of Clinical Biochemistry 平成22年3月	Automated assay for determining cellular cholesterol using a random access chemistry analyser.	Kitanaka, A.,	臨床検査医学
International Journal of Clinical Oncology 15 平成22年2月	Lineage switch from precursor B cell acute lymphoblastic leukemia to acute monocytic leukemia at relapse	Kitanaka, A.,	臨床検査医学
Immunology Letters 平成22年1月	Tec protein tyrosine kinase inhibits CD25 expression in human T-lymphocyte.	Kitanaka, A.,	臨床検査医学
Cellular Signalling 平成21年12月	Gab1 transduces PI3K-mediated erythropoietin signals to the Erk pathway and regulates erythropoietin-dependent proliferation and survival of erythroid cells	Kitanaka, A.,	臨床検査医学
International Journal of Clinical Oncology 平成21年6月	Fludarabine and melphalan conditioning with tacrolimus as GVHD prophylaxis for allogeneic stem cell transplant recipients is an effective, reduced-intensity combination regimen compared to the conventional regimen.	Kitanaka, A.,	臨床検査医学
Hematological Oncology 平成21年6月	Intravascular large B-cell lymphoma with FDG accumulation in the lung lacking Tl/67 gallium scintigraphy abnormality	Kitanaka, A.,	臨床検査医学
International Heart Journal. 平成21年5月	Independent Determinants of the Tei Index in Hypertensive Patients with Preserved Left Ventricular Systolic Function	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Tohoku J. Exp. Med. 平成21年6月	Early Detection of Hypertension in a Patient Treated with Sunitinib by Measuring Cardio-Ankle Vascular Index	MASUGATA Hisashi.	総合診療部

8ページ  
計10件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

Clin Exp Hypertens. 平成21年7月	Influences of hypertension and diabetes on normal age-related changes in left ventricular function as assessed by tissue Doppler echocardiography	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Intern Med. 平成21年9月	Cytomegalovirus-associated acute gastric mucosal lesion in an immunocompetent host	HIMOTO Takashi	総合診療部
Hypertens Res. 平成21年9月	Comparison of Central Blood Pressure and Cardio-Ankle Vascular Index for Association with Cardiac Function in Treated Hypertensive Patients	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Tohoku J. Exp. Med. 平成21年10月	Detection of Increased Arterial Stiffness in a Patient with Early Stage of Large Vessel Vasculitis by Measuring Cardio-Ankle Vascular Index.	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Diabetes, Obesity and Metabolism 平成21年10月	Exendin-4 regulates Glucokinase expression via CaMKK/CaMKIV pathway in pancreatic $\beta$ cell line.	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Hypertens Res. 平成21年10月	Systemic candesartan reduces brain angiotensin II via downregulation of brain renin/angiotensin system	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Int J Cardiovasc Imaging. 平成21年12月	Acute Improvement of Cardiac Efficiency Measured by $^{11}C$ -Acetate PET After Cardiac Resynchronization Therapy and Clinical Outcome.	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Hypertens Res. 平成21年12月	Comparison of central blood pressure and cardio-ankle vascular index for association with cardiac function in treated hypertensive patients.	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Clin Exp Hypertens. 平成22年1月	Echocardiographic assessment of the cardio-renal connection: is left ventricular hypertrophy or diastolic function more closely correlated with estimated glomerular filtration rate in patients with cardiovascular risk factors?	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Clin. Exp. Hypertens. 平成22年1月	Seasonal Blood Pressure Variation and Its Relationship to Environmental Temperature in Healthy Elderly Japanese Studied by Home Measurements.	KIMURA Toshiaki	総合診療部

9ページ  
計10件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

Tohoku, J. Exp. Med. 平成22年3月	Elevated Brachial-Ankle Pulse Wave Velocity is Associated with Left Ventricular Hypertrophy in Hypertensive Patients after Stroke.	MASUGATA Hisashi	総合診療部
Cases J. 平成22年3月	Acute superior mesenteric venous thrombosis with advanced gastric cancer: a case report.	GODA Fuminori	総合診療部
Annals of Clinical Biochemistry 平成22年3月	Automated assay for determining cellular cholesterol using a random access chemistry analyser.	Y. Kubota	輸血部
Immunology Letters 平成22年1月	Tec protein tyrosine kinase inhibits CD25 expression in human T-lymphocyte.	Y. Kubota	輸血部
Cellular Signalling 平成21年12月	Gab1 transduces PI3K-mediated erythropoietin signals to the Erk pathway and regulates erythropoietin-dependent proliferation and survival of erythroid cells.	Y. Kubota	輸血部
International Journal of Clinical Oncology 平成21年6月	Fludarabine and melphalan conditioning with tacrolimus as GVHD prophylaxis for allogeneic stem cell transplant recipients is an effective reduced-intensity combination regimen compared to the conventional regimen.	Y. Kubota	輸血部
日本病院薬剤師会雑誌 第45巻4号 平成21年4月	精神科病棟における薬剤師の役割—医師・看護師への認識調査の前後比較による検証と再評価—	篠原尚樹	薬剤部
Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics 34, 719-722, 2009	Problems associated with prophylactic use of erythromycin in 1,566 staff to prevent hospital infection during the outbreak of pertussis	田中裕章	薬剤部
Therapeutic Drug Monitoring 31, 57-62, 2009	Dose Adjustment of Phenytoin for Comedication in Japanese Patients with Epilepsy	福岡憲泰	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌 第45巻11号 平成21年11月	イトラコナゾール内用液がシクロスポリンの薬物動態に及ぼす影響	山口佳津騎	薬剤部

10ページ  
計10件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

The Pediatric Infectious Disease Journal Vol. 28, No. 9, 2009	PHARMA COKINETICS OF PROPHYLACTIC MICAFUNGIN IN VERY-LOW-BIRTH-WEIGHT INFANTS	福岡憲泰	薬剤部
地域救急災害医療研究 平成21年12月	救急隊員に対する再教育としての意識障害評価法についての実技講習会の試みー受講者の模擬傷病者経験による効果についてー	中村文洋	救急災害医学
Progress in Medicine 平成21年6月	良質な卒後臨床研修医獲得に向けた香川大学医学部の試み	清元秀泰	救急災害医学

11ページ  
計3件

合計103件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 石田 俊彦		
管理担当者氏名	総務課長	林 勝幸	患者サービス課長 中島 一浩
	薬剤部長	芳地 一	放射線部長 西山 佳宏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医学部患者サービス課 薬剤部 放射線部 検査部 病理部 医療情報部	診療録及び診療諸記録を電子媒体にて保存管理している。紙媒体のものについては、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は1患者1ファイル方式で共に永久保存を原則として、コンピューターによる集中管理を行っている
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
	高度の医療の提供の実績	医学部患者サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課	
	高度の医療の研修の実績	医学部患者サービス課	
	閲覧実績	医学部患者サービス課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医学部患者サービス課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部患者サービス課及び薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医学部患者サービス課 医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部		

三 第 一 項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部患者サービス課 地域連携室 医療安全管理部
------------------	------------------------------------	--------------------------------

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部 薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部 ME機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 ME機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部 ME機器管理センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 ME機器管理センター

(注) 「診療に関する精記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部事務部長 前川 正
閲覧担当者氏名	患者サービス課長 中島 一浩
閲覧の求めに応じる場所	管理棟1階情報公開室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	72.3%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			8,167人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			6,663人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			702人
D: 初診の患者の数			14,832人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。



(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容：別紙①のとおり	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
・ 活動の主な内容： (1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関すること。 (2) 安全管理のための医療事故等の院内報告制度の整備に関すること。 (3) 安全管理に関する教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故の防止及び対策に関すること。 (5) 安全対策マニュアルの実施状況の検証に関すること。 (6) 医療事故発生時の対応方法の整備(事故調査を含む。)に関すること。 (7) 医事問題に係る対策に関すること。 (8) 分析されたインシデントレポートの情報を、速やかに職員に周知及び実行させること。 (9) その他医療事故を含む安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 37 回
・ 研修の主な内容：別紙②のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○提出されたインシデントレポートを週に一回審議し、対応策を検討する。内容によっては GRM が現場に出向き、対応指導を行う。 ○安全管理室員会議においてインシデントの集計、分析、再発防止策を検討し安全管理委員会に報告する。 ○リスクマネジメント会議において安全管理委員会及び安全管理室が講じた対策等の情報を各現場に浸透させる。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 1 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 1 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
・ 所属職員： 専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 17 ) 名 ・ 活動の主な内容： 病院長の下に組織横断的に院内の安全管理を担い、医療安全管理委員会において審議する事項 (上記②) に関して、調査、資料作成等を行うとともに、審議結果等に基づく安全管理を実施する。また、医療安全管理委員会に対して安全管理に関する提言を行う。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容：別紙③のとおり	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
・ 活動の主な内容： (1) 院内感染の調査、予防及び防止に関すること。 (2) 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。 (3) 感染症発生時の措置に関すること。 (4) 院内職員の教育及び啓蒙に関すること。 (5) 消毒剤の使用に関すること。 (6) その他感染予防に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： ・ 感染防止の技術 ・ 病院感染対策について ・ 感染対策のスタンダードプリコーション、感染経路別予防策	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎月レポートは感染対策室員会議で検討し、検討結果を感染対策委員会に報告、必要に応じて対応を協議している。レポートの結果を職員にフィードバックしている。 感染症発生報告の内容によってICNが現場へ出向き対応、指導を行う。必要に応じてICTが招集され対策を検討、ICN、ICD、ICTが協力して対応にあたる。適宜、病院長、感染対策委員会、各関係会議等へ報告を行う。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年9回
研修の主な内容： 医薬品の安全使用を目的とし、各病棟職員または病院職員全体を対象とした研修を行っている。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
- 手順書の作成 (有)・無 ) - 業務の主な内容： 1) 医薬品の採用と購入 2) 医薬品の管理 3) 投薬指示と調剤 4) 患者に対する服薬指導 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱い(収集・提供) 6) 他施設との連携の各業務について適正に実施している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無 ) - その他の改善のための方策の主な内容： 1) 薬剤部ニュース(月1回)を全診療科に配布している。 2) 急を要する連絡は文書と院内Webで通知している。 3) 薬事委員会で院内採用薬の見直しを行っている。 4) 院内での副作用発生事例については情報を収集し、厚生労働省および当該医薬品メーカーへ報告を行っている。 5) 医薬品安全管理委員会(薬事委員会)を設置、年4回開催している。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年60回
・ 研修の主な内容： 業者の協力を得て、新しい医療機器の使用が予定される部署、職員等を対象に研修を実施している。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 機種別に保守点検の周期を設け、定期的に点検を実施し、記録を保存している。業務委託による保守点検においては実施状況等の記録を保存し、管理状況を把握している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ニュース「ME機器管理センターからのお知らせ」を説明のうえ、各病棟、部署に配布している。必要に応じてリスクマネージャー会議で周知徹底を行っている。また、人工心肺装置及び補助循環装置等、対象部署が限局される事項については、その都度通知文を回覧し周知徹底している。 K-MINDにてマニュアル、添付文書、ニュース、お知らせを掲載している。	

(別紙①)

## 安全管理のための基本方針

本院は、患者様が安心して医療を受けられる環境を整え、各医療現場において安全確実な医療を実践・教育する。

医療事故の絶無を期して、現場における責任体制を明確にし、医療事故防止のための安全管理体制を病院全体で取り組み確立する。

- 1 安全管理のための委員会  
安全管理及び医療事故の防止・対策について審議するため、医療安全管理委員会を置く。
- 2 医療安全管理部 安全管理室  
医療安全管理委員会が講じた安全対策をリスクマネジャーを通じて速やかに実践徹底させると共に、医療安全管理委員会に安全対策を提言する。
- 3 専任リスクマネジャー  
本院全体の医療事故防止及び安全管理の任に当たらせるため、安全管理室に専任リスクマネジャーを置く。
- 4 リスクマネジャー  
医療安全管理委員会及び医療安全管理部が講じた安全対策等の情報を、各医療現場に浸透させるため、また、各医療現場で発生した医療事故及びインシデントの報告及び医療事故防止に関する問題点等を医療安全管理部及び医療安全管理委員会の審議に反映させるため、各科(部)等にリスクマネジャーを置く。
- 5 安全管理のための職員教育及び研修  
医療事故防止手法などの安全管理に関する教育を行うと共に、職員研修を開催する。
- 6 医療事故発生時の対応  
医療事故に関する情報は、速やかに、病院長及び医療安全管理部長に連絡し、報告書を提出する。医療安全管理委員会は報告書に基づいて、内容・実状を把握し、対応・改善を協議する。
- 7 安全対策マニュアル  
病院関係職員の医療事故防止のため、「安全対策マニュアル」を作成し、周知徹底を図る。  
なお、状況等により随時見直しを行うものとする。
- 8 医薬品安全管理責任者  
本院全体の医薬品の安全使用の任に当たらせるため、薬剤部に医薬品安全管理責任者を置く。
- 9 医療機器安全管理責任者  
本院全体の医療機器の安全使用の任に当たらせるため、ME機器管理センターに医療機器安全管理責任者を置く。
- 10 患者相談  
患者様からの医療安全管理に関する相談に対して、誠実に対応する。
- 11 その他  
安全管理のための方策を検討し、医療事故防止に努める。  
本指針は、患者様及びその家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じるものとする。

## 平成21年度安全管理のための職員研修実施報告

	実施日	対象職員	参加人数	時間	内容
1	4月1日	新採用研修医	34名	120分	講義「本院の患者安全管理体制について」 講師 安全管理室 横見順彦 講義「インシデントレポートの記載方法と事例分析」 講師 安全管理室 中妻専任RM
2	4月2日	新採用看護職員	52名	60分	講義「インシデントレポートの記載方法と事例分析」 講師 安全管理室 中妻専任RM
3	4月8日 4月9日	新採用看護師	50名	18時間	講義「採血、置針針によるルート確保」「輸液ポンプ・シリンジポンプ使用方法」 講師・看護部担当副部長 教育委員会 (株)テルモ
4	4月21日	新採用医師-コメディカル	68名	40分	講義「本院の安全管理体制について」 講師 安全管理室 横見順彦 講義「インシデントレポート報告体制について」 講師 安全管理室 中妻専任RM
5	4月21日	リスクマネジャー	9名	20分	講義「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」 講師 安全管理室 中妻専任RM
6	4月23日	看護補助者	29名	30分	講義「安全体制、患者誘導、転倒転落」 講師 安全管理室 中妻専任RM
7	4月24日	ニチイフロントマネジャー(外注職員)	3名	30分	講義「インシデントレポート報告体制について」 講師 安全管理室 中妻専任RM
8	5月1日	看護職員復業者・中途採用者	10名	30分	講義「医療の安全に関すること」 講師 安全管理室 中妻専任RM
9	5月19日	全職員	389名	60分	講義「平成20年度インシデントレポート報告、感染対策室報告」 講師 安全管理室 横見順彦、中妻専任RM、田中副部長
10	5月26日	看護部リスク委員会	25名	30分	講義「事故分析」 講師 安全管理室 中妻専任RM
11	5月1日	看護職員復業者・中途採用者	6名	30分	講義「医療の安全に関すること」 講師 安全管理室 中妻専任RM
12	6月16日	全職員	362名	80分	講義「各部署安全取組み報告」 講師 総合診療部・卒後臨床研修センター・脳神経外科
13	6月17日	医学科学生	87名	30分	講義「保健医療福祉費・介護給付院実習前リレー講話」「GRMの役割」 講師 安全管理室 中妻専任RM
14	7月21日	全職員	351名	60分	講義「各部署安全取組み報告」 講師 消化器外科・総合周産期母子医療センター・治療管理センター
15	7月26日	看護協会ファーストレベル研修	73名	30分	講義「医療情報システム」 講師 安全管理室 中妻専任RM
16	7月27日	リスクマネジャー	2名	20分	講義「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」 講師 安全管理室 中妻専任RM
17	8月31日	看護部業務担当者	60名	30分	講義「静脈注射における安全確保対策の適応と判断」 講師 安全管理室 中妻専任RM
18	9月2日	全職員	371名	105分	講義「外部講師による安全管理のための研修」 講師 NPO法人さきえあい医療人権センター-COML 辻本好子

19	安全管理研修(第2回異動者研修)	9月15日	新採用医師・コメディカル	27名	30分	講義「本院の安全管理体制について」
						講師 安全管理室 横見謙彦長
						講義「インシデントレポート報告体制について」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
20	安全管理研修(講義)	9月18日	看護補助者	27名	60分	講義「車イス操作」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
21	安全管理研修(講義)	10月6日	看護職員復帰者・中途採用者	17名	30分	講義「医療の安全に関すること」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
22	安全管理研修(講義)	10月13日	リスクマネジャー	1名	20分	講義「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
23	安全管理研修(講義)	10月20日	リスクマネジャー	2名	20分	講義「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
24	医療ガス安全管理研修	10月16日	全職員	371名	60分	講義「医療ガスの取り扱い等について」
		10月23日				講師 高松希隆(株)
						管理施設課
25	安全管理研修(講義)	10月20日	副部長候補者	23名	50分	講義「組織としての安全管理」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
26	安全管理研修(講義)	10月20日	全職員	278名	50分	講義「要注意薬の取り扱いについて(1)」
						講師 薬剤部
27	安全管理研修(講義)	11月17日	看護師・事後臨床研修医・コメディカル	343名	50分	講義「ME機器管理に関する研修」
						講師 (株)ムトウテクノス、IMI(株)
28	安全管理研修(講義)	12月7日	看護職員復帰者・中途採用者	1名	30分	講義「医療の安全に関すること」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
29	安全管理研修(講義)	12月14日	看護学科 4年	50名	90分	講義「医療安全の実態」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
30	安全管理研修(講義)	12月15日	全職員	327名	50分	講義「各部署安全取組み報告」
						講師 精神科神経科・内視鏡診療部・小児成育外科
31	安全管理研修(第3回異動者研修)	12月24日	新採用医師・コメディカル	9名	30分	講義「本院の安全管理体制について」
						講師 安全管理室 横見謙彦長
						講義「インシデントレポート報告体制について」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
32	安全管理研修(講義)	1月8日	看護職員復帰者・中途採用者	4名	30分	講義「医療の安全に関すること」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
33	安全管理研修(講義)	1月19日	全職員	376名	50分	講義「各部署安全取組み報告」
						講師 医療情報部・地域連携室・集中治療部
34	安全管理研修(講義)	1月27日	看護学科 2年	81名	90分	講義「医療安全と法規」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
35	安全管理研修(講義)	3月3日	全職員	435名	60分	講義「放射線に関する研修」
						講師 放射線部
36	安全管理研修(第4回異動者研修)	3月5日	新採用医師・コメディカル	8名	30分	講義「本院の安全管理体制について」
						講師 安全管理室 横見謙彦長
						講義「インシデントレポート報告体制について」
						講師 安全管理室 中妻専任RM
37	安全管理研修(講義)	3月16日	看護部業務担当者	77名	30分	講義「静脈注射における安全確保対策の適応と判断」
						講師 安全管理室 中妻専任RM

## 院内感染対策のための指針

香川大学医学部附属病院は、病院の理念に基づき、感染防止および感染制御の対策に取り組むことで、患者および病院職員に安全で快適な医療環境を提供する。

そのための基本的な考え方を以下に定める。

### 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方

院内感染の発生を未然に防ぎ、感染症発生時に拡大を防止するためには、その原因を速やかに特定し、早期に制圧することが重要である。そのため、院内感染防止対策を職員全員が把握し、病院の理念に則った医療が提供できるよう取り組む。

### 2. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針

職員は、感染対策マニュアルに沿って、手洗いの徹底、マスク、手袋等の着用など、常に感染予防策の遵守に努める。

職員は、自らが院内感染源とならないよう、定期健康診断を受診し、健康管理に努める。

感染対策マニュアルは、定期的に見直しを行い、病院職員へ周知徹底を図る。

### 3. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項

香川大学医学部附属病院感染対策委員会規定に基づき、感染対策委員会を設置し、院内感染の調査、感染予防の実施、発生時の措置等に関する審議・決定を行う。

院内感染等の発生防止に関する業務を迅速かつ機能的に実行するために感染対策室を設置する。

### 4. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針

院内感染防止対策の基本的な考え方および防止対策に対する意識の向上を図るために、全病院職員対象の研修会を年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。研修の開催結果を記録し、保存する。

### 5. 院内感染症の発生状況の報告に関する基本方針

耐性菌及び市中感染症等の院内発生に伴う感染拡大を防止するため、感染症発生状況を感染対策委員会及び感染対策室を通じて病院職員に定期的に通知する。また、感染症コントロールシステムにより、随時情報提供を行う。

### 6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針

院内感染が発生した部署の病院職員は、直ちに感染対策室へ報告する。感染対策室は、状況および対応を病院長ならびに感染対策委員会に報告する。

感染対策室および発生部署の病院職員は、速やかに発生の原因を究明し、改善策を立案し実施する。

感染対策室は、発生状況および改善策の実施結果について感染対策委員会、電子メールおよび紙媒体を通じて全職員に速やかに周知する。

### 7. 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、感染対策マニュアルおよびホームページに掲載する。